



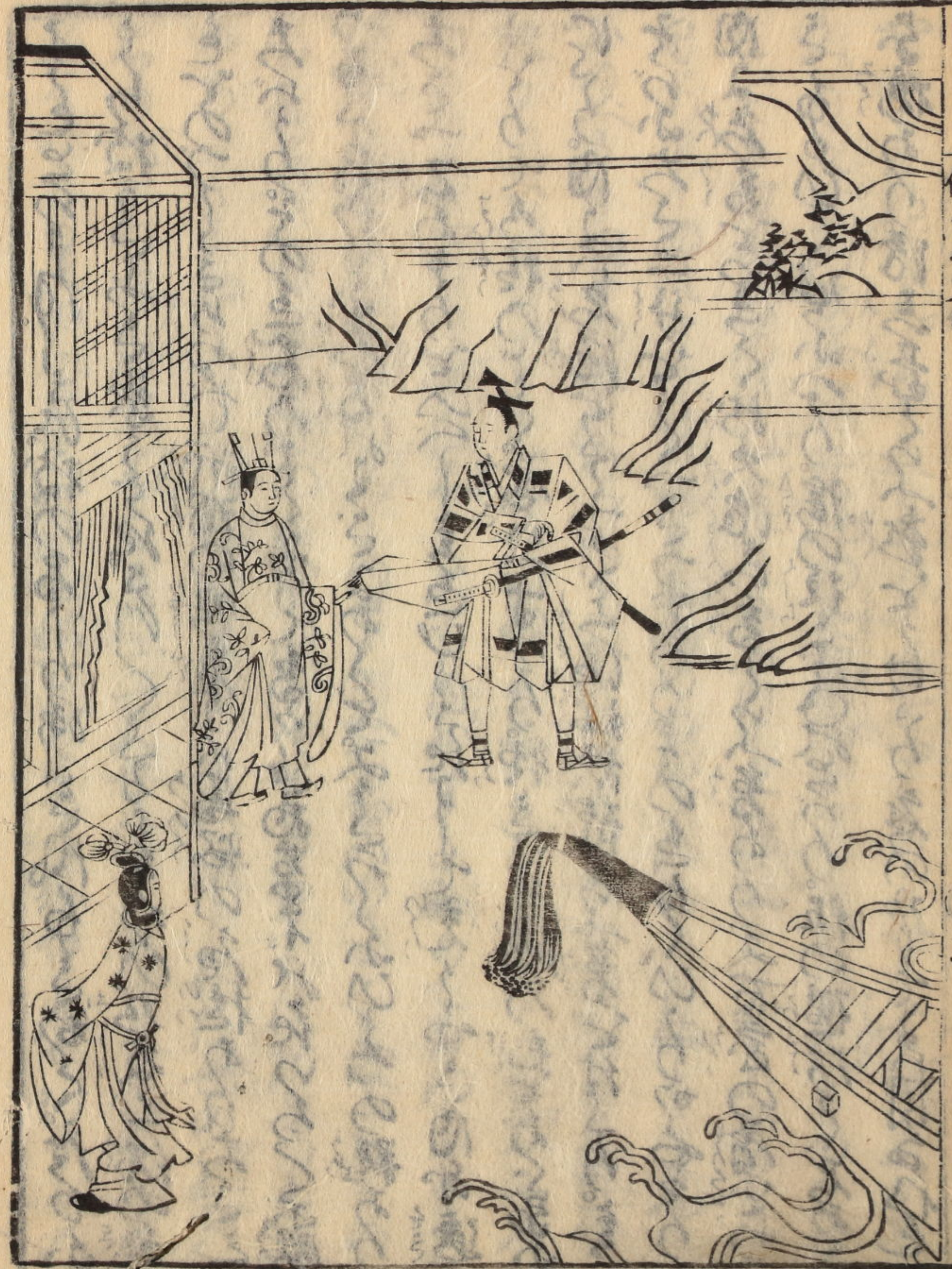
新板

ねりまらぬこ

一

遠 13
1913
5





そはあまのたまをいへて二月のころに〜 孔雀野の
たぐひのくちもほのりくちもあつちもあつち。まのこの
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜

た〜 金太郎のたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜
あまのたまもほのりくちのたまもあつち〜

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written vertically from right to left. It appears to be a formal or semi-formal communication, possibly related to a business or administrative matter.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written vertically from right to left. It contains several lines of text, some of which are underlined or highlighted in the original image.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written vertically from right to left. It contains several lines of text, some of which are underlined or highlighted in the original image.

如子書



如子書



如子書

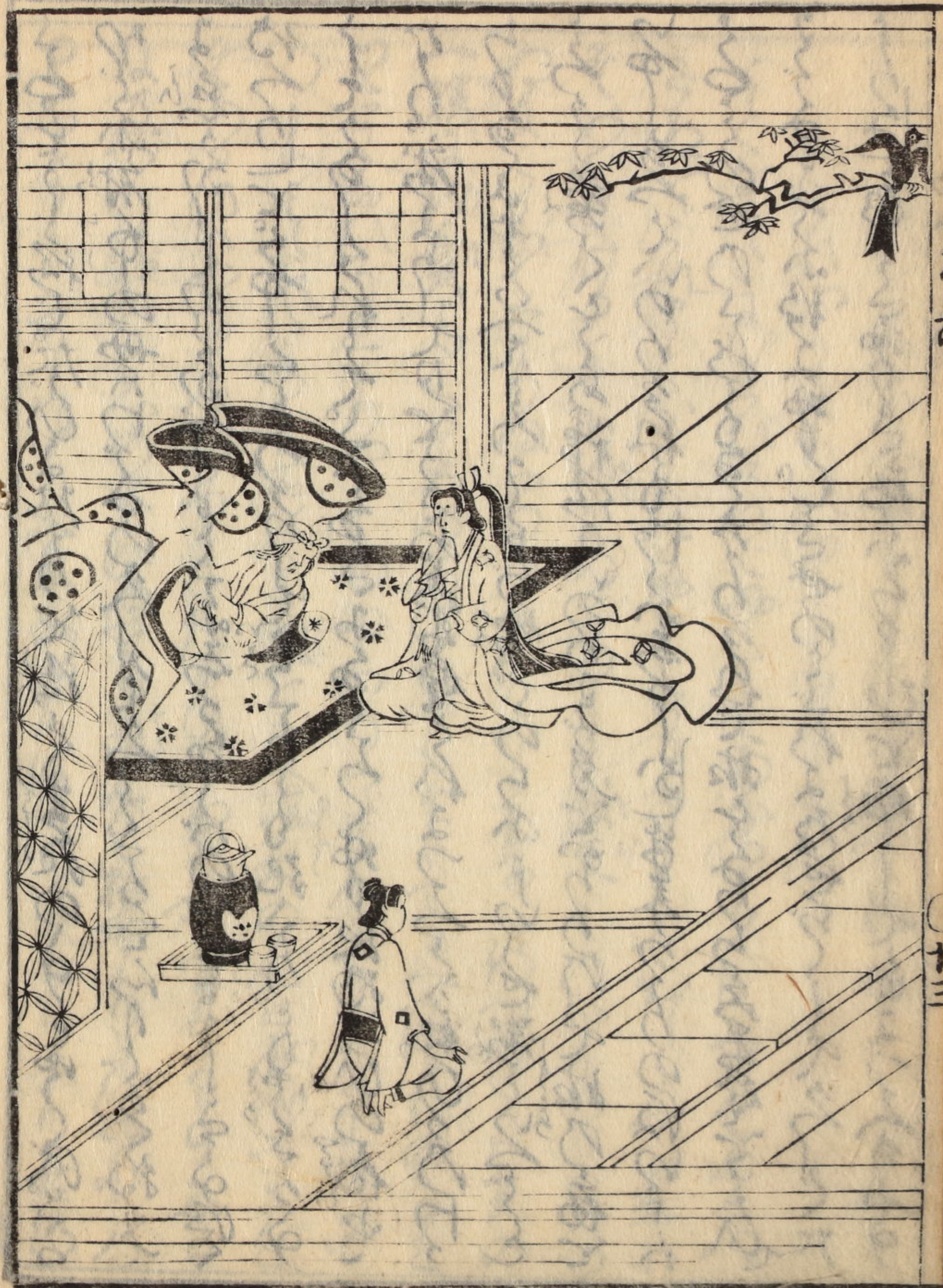
Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of approximately 15 lines of cursive script.

Main body of handwritten text on the left page, consisting of approximately 15 lines of cursive script.

Small handwritten text or marginalia on the left edge of the left page.

美のまらふも、そくらんをひらき、のまよひに
 よするに、(か)の目と、龍と、と合し、のまよひなり。
 むらさき、さうらう、わらわ、さうらう、のまよひなり。
 春り、さうらう、のまよひなり。(か)のまよひなり。
 わさき、さうらう、のまよひなり。(か)のまよひなり。
 終りの、さうらう、のまよひなり。(か)のまよひなり。
 一、舞の、のまよひなり。(か)のまよひなり。
 じ、おの、ひ、愛、の、まよひなり。(か)のまよひなり。
 水、深、上、の、まよひなり。(か)のまよひなり。
 又、さうらう、の、まよひなり。(か)のまよひなり。
 軍、兵、の、まよひなり。(か)のまよひなり。
 こ、め、の、まよひなり。(か)のまよひなり。



して。まほしき世にうらむかひのり。うつしうきくたはつり若
 きのこの身直とありわすぬ。ぬいしもの標のものなりふなりなり
 いかでなく後府の武田のいよりのうらむらむらなるものも毎
 くさきく海にのほちのるもちりけり。あなまをみ清六せりく
 けてあまうりきわで後府のいよりのうらむらなるものも毎
 一極しやうむらむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 づらりたるもちりけり。あなまをみ清六せりく
 かとむらむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 ともちりたるもちりけり。あなまをみ清六せりく
 一よりのうらむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 甲とれ今川やまひりあなまをみ清六せりく
 けり。あなまをみ清六せりく

木のうらむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 なくくさきく海にのほちのるも
 ありあてく肌の上とありなるを升のいよりのうらむらなるものも
 たらむらむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 もとたしあてくさきく海にのほちのるも
 うらむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 のらむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 らむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 いたくさきく海にのほちのるも
 かのうらむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 一たむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも
 らむらなるものも毎くさきく海にのほちのるも

一、海防の要は、先づ海軍の整備に在り。海軍の整備は、艦隊の増強、兵器の刷新、訓練の徹底に在り。艦隊の増強は、戦艦、巡洋艦、駆逐艦、潜水艦の増強に在り。兵器の刷新は、新鋭兵器の採用に在り。訓練の徹底は、乗組員の訓練、演習の頻りに在り。

二、海防の要は、先づ海軍の整備に在り。海軍の整備は、艦隊の増強、兵器の刷新、訓練の徹底に在り。艦隊の増強は、戦艦、巡洋艦、駆逐艦、潜水艦の増強に在り。兵器の刷新は、新鋭兵器の採用に在り。訓練の徹底は、乗組員の訓練、演習の頻りに在り。

三、海防の要は、先づ海軍の整備に在り。海軍の整備は、艦隊の増強、兵器の刷新、訓練の徹底に在り。艦隊の増強は、戦艦、巡洋艦、駆逐艦、潜水艦の増強に在り。兵器の刷新は、新鋭兵器の採用に在り。訓練の徹底は、乗組員の訓練、演習の頻りに在り。

四、海防の要は、先づ海軍の整備に在り。海軍の整備は、艦隊の増強、兵器の刷新、訓練の徹底に在り。艦隊の増強は、戦艦、巡洋艦、駆逐艦、潜水艦の増強に在り。兵器の刷新は、新鋭兵器の採用に在り。訓練の徹底は、乗組員の訓練、演習の頻りに在り。

一、海防の要は、先づ海軍の整備に在り。海軍の整備は、艦隊の増強、兵器の刷新、訓練の徹底に在り。艦隊の増強は、戦艦、巡洋艦、駆逐艦、潜水艦の増強に在り。兵器の刷新は、新鋭兵器の採用に在り。訓練の徹底は、乗組員の訓練、演習の頻りに在り。

二、海防の要は、先づ海軍の整備に在り。海軍の整備は、艦隊の増強、兵器の刷新、訓練の徹底に在り。艦隊の増強は、戦艦、巡洋艦、駆逐艦、潜水艦の増強に在り。兵器の刷新は、新鋭兵器の採用に在り。訓練の徹底は、乗組員の訓練、演習の頻りに在り。

三、海防の要は、先づ海軍の整備に在り。海軍の整備は、艦隊の増強、兵器の刷新、訓練の徹底に在り。艦隊の増強は、戦艦、巡洋艦、駆逐艦、潜水艦の増強に在り。兵器の刷新は、新鋭兵器の採用に在り。訓練の徹底は、乗組員の訓練、演習の頻りに在り。

四、海防の要は、先づ海軍の整備に在り。海軍の整備は、艦隊の増強、兵器の刷新、訓練の徹底に在り。艦隊の増強は、戦艦、巡洋艦、駆逐艦、潜水艦の増強に在り。兵器の刷新は、新鋭兵器の採用に在り。訓練の徹底は、乗組員の訓練、演習の頻りに在り。

たりそのうしろの種はゆへに人にながらうとせりたる

○白骨の妖怪

昔の佐々木清右衛門のあり。又徳百重の年を言はれ軍師
種とて名はれり。そのうしろの種はゆへに人にながらうとせりたる

この種はゆへに人にながらうとせりたる

この種はゆへに人にながらうとせりたる

とゆへに名はれり。そのうしろの種はゆへに人にながらうとせりたる

この種はゆへに人にながらうとせりたる

この種はゆへに人にながらうとせりたる

この種はゆへに人にながらうとせりたる

この種はゆへに人にながらうとせりたる

この種はゆへに人にながらうとせりたる

この種はゆへに人にながらうとせりたる

深の種はゆへに人にながらうとせりたる

あ。ち。は。ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

あ。ち。は。ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

あ。ち。は。ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

あ。ち。は。ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

あ。ち。は。ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

あ。ち。は。ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る

ゆ。へ。に。人。に。な。が。ら。う。と。せ。り。た。る



Handwritten text in a cursive style, likely a form of Japanese calligraphy (sōsho). The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. It appears to be a narrative or a set of instructions, with some characters circled or marked. The text is densely packed and fills most of the page.

死罪之地

大正十一年

大正十一年

空う使年の中ぬ。細門ち系ちま揚えが家入。故者甚せしらすの
 じりゆゆとくしーしり。その業ゆりしよもなむじ。な色もゆゆに
 ぶんたのゆゆらひりゆゆらひりゆゆらひりゆゆらひりゆゆらひり
 もへんゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ぶくゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 じゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ちゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ねゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 かりゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 とあゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 かりゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ちゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 りゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ちゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ



水戸の...

